

1. 組織名

日本化学工業協会

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス、貿易円滑化など

意見

1. アンチダンピング制度(AD)の濫用防止

一部の国で見られる、必要な条件を満たしていないAD調査開始や、発動後に必要な条件が満たされなくなったままのAD維持など、個別の化学品を恣意的に対象とするかのようなAD運用は、自国の産業を守るために保護主義的・輸入制限的にADを濫用することにほかならず、日本の化学産業にとっては、大きな市場を失う問題となる。この政策は、逆に、日本の高品位材を使用して製品を作っている自国産業の競争力を弱めることになる点にも気づくべきである。ゆえにAD濫用が回避されるような濫用防止策を設定していただくことおよび濫用回避のためのAD運用を徹底していただく事を希望する。

3. 提出意見②

該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

意見

2. 化学品管理規制・制度の整備、データの統合

国際的整合性の取れた化学品管理規制の整備や、データベースの統合を、日本政府としてリーダーシップを取ってTPP対象国で展開願いたい。このために、経済産業省が現在進めていられる「アジア・サステナブル・ケミカル・セーフティープラン」を、積極的に推進していただきたい。

3. 提出意見②

該当する交渉分野

原産地規則

意見

3. 公平な原産地規則の制定・運用及び原産地規則の統一化

特定の国や特定の産業分野・製品に対する制限的な効果を狙った恣意的な原産地規則の制定・運用などを避け、参加国間において公平な原産地規則の制定・運用を取り進めていただくことを希望する。また、FTAごとに異なる原産地規則の統一化により、関係企業の負担軽減を図っていただくことを希望する。